東日本大震災に関する資料収集状況等（平成 30 年 12 月末現在）

第８回被災地図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会資料
岩手県立図書館

１　震災資料コーナーの設置

(1)　設置年月日：　平成 24 年 4 月 1 日

(2)　設置場所　：　当館３階郷土資料コーナー内

(3)　収集資料数：

	図書(冊)	一枚物(点)	視聴覚資料(点)	雑誌（タイトル）	雑誌（冊）
H23. 3.31 現在	817	345	8	584	1,649
H30.12.31 現在	6,744	16,650	193	873	6,428

２　震災資料のデータベース入力への項目等

(1)　震災資料の収集範囲について

図書、雑誌、視聴覚資料を中心に収集。

寄贈資料については、図書・雑誌・パンフレット・ビラ・ミニコミ誌・ボランティア記録・避難所だより・文集・視聴覚資料・電子資料・マイクロ資料・写真・地図など網羅的に収集。

(2)　データベースへの入力のしかた

ア　他の所蔵資料と同様の扱いである。ただし、別置記号「H」を付与。

イ　震災資料に係る別置記号の例

H：図書資料　HS：雑誌資料　HC：一枚ものの資料　MH：電子資料　DH：DVD 資料

CH：CD 資料

３　震災資料収集に係る広報

(1)　当館ホームページを活用した広報（年間）

(2)　県広聴広報課をとおした広報（新聞、タウン誌、全戸配布の広報誌等。随時）

(3)　県庁内グループウエアでの広報（年 2 回）

(4)　県内市町村立図書館等を訪問しての呼びかけ（H29.12.31 現在　25 市町村　29 件）

４　図書館ホームページを活用した情報発信

「東日本大震災情報ポータル」ページを設置（H24.4.1）

(1)　震災関連資料コーナーの紹介、当館震災関連資料一覧

(2)　岩手県立図書館の震災対応状況、県内図書館被害の概況

(3)　新聞記事索引（県内５紙：H23.3～H31.1　随時追加）

(4)　雑誌記事索引（県内 145 誌：H23.3～H29.3　随時追加）

(5)　外部リンク集　等

５　県、県関係機関との連携・協力

(1)　県復興局

平成 27 年度：「震災津波関連資料の収集活用等に係るガイドライン」作成のためのワーキンググループ及び有識者会議への出席

平成 28 年度：岩手県震災アーカイブシステム「いわて震災アーカイブ～希望～」へ震災関連資料のデータ（自治体刊行物、会議資料、提供資料、写真）及び当館レファレンスデータを提供。（平成 29 年３月 30 日より公開）

(2)　岩手県立大学

「公立大学法人岩手県立大学地域政策研究センター地域協働研究」に係る「岩手県立図書館震災関連資料デジタルアーカイブズとその利活用に関する基礎研究」（H26 年度～H27 年度）を終了。H28 年度以降は研究に係る当館資料の提供や作成したシステムの検証等に協力。

６　他機関との連携

(1)　東北被災地の図書館と震災資料収集・公開に係る情報交換会（神戸大学）

(2)　国立国会図書館と県立図書館の震災記録に関する協力連絡会議（国立国会図書館）

(3)　東日本大震災アーカイブワークショップ（東北大学）

７　震災関連資料の利活用を推進するための取り組み

(1)　震災関連資料のセット貸出しの実施

(2)　震災関連資料のテーマ別展示

(3)　コンシェルジュによる震災関連資料コーナーのガイドツアー

(4)　震災関連資料を利用した企画展示「岩手の災害史」（H31.2.22 及び～H31.5.6）及び関連行事（講演会、ギャラリートーク、映画会）

８　震災関連資料の収集・保存・活用に関する課題

(1)　収集する資料の範囲の検討

(2)　新たな資料の掘り起し

(3)　効果的な周知方法と収集方法の検討

平成 31 年 2 月 4 日
宮 城 県 図 書 館

「東日本大震災文庫」及び「東日本大震災アーカイブ宮城」について

1　東日本大震災文庫

(1) 概要

・平成 24 年 7 月，当館 3 階開架に設置。
・宮城県内で刊行された資料を網羅的に収集するほか，東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に関連する資料も収集。資料の媒体は限定しない。
・東日本大震災文庫資料は貸出不可。
複数冊所蔵している一部の図書・視聴覚資料は，一般図書フロア・子ども図書室・音と映像のフロアに東日本大震災関連資料コーナーを設置し，貸出可。
・平成 28 年 2 月，震災関連のチラシやポスター，ミニコミ誌等をファイリングし，「東日本大震災関連資料ファイル」として公開（複写不可）。
・平成 30 年 10 月，資料の増加に伴い開架書架を増設。

(2) 収集資料点数（平成 31 年 1 月 13 日現在，及び昨年報告からの増加数）

・図書 4685 点（387 点増）
・雑誌 1437 点（79 点増）
・視聴覚資料 160 点（22 点増）
・新聞 27 種
・「東日本大震災関連資料ファイル」 3586 点
チラシ，パンフレット，ニュースレター，ポスター等掲示物，行政資料（住民向け資料），会議資料，地図，写真，ミニコミ誌，広報誌，論文（抜刷），電子資料など

2　東日本大震災アーカイブ宮城

(1) 概要

・平成 27 年 6 月 15 日公開。
・東日本大震災に関する記憶の風化を防ぐとともに，防災・減災対策や防災教育等に幅広く活用するために設置。
・県内全市町村と連携・協力して震災関連資料を収集し，権利許諾処理（及びデジタル化）後，ウェブ上で広く公開。
・災害伝承，復興計画策定，復興支援，防災教育などの利用目的に反しない場合，利用規約の遵守に同意し，出所及び提供者を明示の上で，第三者利用が可能（一部除く）。
・東日本大震災アーカイブ宮城のデータを活用したアプリ「震災ナビ」を公開。
・平成 30 年 2 月，システムの脆弱性対応に係る改修及びトップページのリニューアルを含む利用者機能の改善を行った。

(2) 公開資料件数（平成 30 年 12 月末現在，及び昨年報告からの増加数）

・224165 件（約 1000 件増）。
・写真，音声・映像，文書，会議録，図書，雑誌，ポスターなど。

平成 31 年 2 月 4 日
宮 城 県 図 書 館

3　主な収集及び広報活動

・メディアや書店，WEB 等で情報を集め，購入または寄贈依頼。
・資料提供依頼ポスター掲示，チラシ設置（館内，県内公共図書館等類縁機関）。
・当館ホームページ「東日本大震災関連情報」「東日本大震災アーカイブ宮城」や当館広報誌等での収集及び利活用の呼びかけ。
・県庁内グループウェアによる収集の呼びかけ。
・防災関連イベント出展，及び教育関係の会議参加等により広報やチラシ配布。
・平成 31 年 3 月 9 日～6 月 9 日に館内で企画展示を開催予定。

4　課題

・資料収集活動及び広報活動
・収集資料及びアーカイブ宮城の利活用
・アーカイブ宮城連携自治体との運営体制

第８回情報交換会
福島県立図書館
2019.2.4

東日本大震災福島県復興ライブラリーについて

１　発足の主旨と推移

（１）発足

①発足

平成 24 年 4 月　「東日本大震災福島県復興ライブラリー」を設置

東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所事故等に関する資料の収集

②収集タイトル数の推移

平成 24 年 4 月 28 日現在　　１，８１８タイトル

平成 25 年 3 月 11 日現在　　４，２２１タイトル

平成 26 年 3 月 11 日現在　　６，２４３タイトル

平成 27 年 3 月 11 日現在　　７，９５４タイトル

平成 28 年 3 月 11 日現在　　９，４５７タイトル

平成 29 年 3 月 11 日現在　１０，６４６タイトル

平成 30 年 3 月 11 日現在　１１，４６４タイトル

（２）現在の状況

①受入総数　　１８，０５１冊（2019.1.11 現在）

（内訳：図書 11,820 冊　雑誌 6,024 冊　視聴覚資料 207 点）

②年度別貸出ベスト

別紙参照

２　収集

（１）形態：印刷資料を中心とした視聴覚資料・電子データを含むもの

（２）東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所事故等に関する次のテーマについての資料を収集

①地震・津波災害に関する資料

②東京電力福島第一原子力発電所事故・放射線障害に関する資料

③風評被害・損害賠償に関する資料

④復旧・復興に関する資料

⑤震災・避難体験者の手記及び記録等の資料

⑥その他の関連資料（チェルノブイリの現在・エネルギー問題など）

（３）入手方法：購入および寄贈

（４）行政資料の収集：定期的な寄贈依頼と自治体 HP の確認など

3　整理

（1）所蔵資料と同じ分類方法（NDC）並びに図書記号を付与

（2）ローカルデータとして文庫「震災復興」並びに下記 16 テーマ毎にセット番号を付与

①過去の災害　②地震・津波　③原子力問題・過去の原発事故　④福島第一原発事故
⑤文学・体験記　⑥メディア・報道・写真集　⑦各組織の震災対応　⑧法律・補償
⑨医学・健康　⑩放射線・除染　⑪農林水産業・動物　⑫復興・防災　⑬エネルギー
⑭雑誌　⑮子ども向け　⑯その他

4　提供

（1）全て一般公開（Web 上で検索可能）

（2）公開図書室内にコーナーを設置

①複本のない地域資料・視聴覚資料は館内閲覧に限定
②一部は他の資料と混配

（3）国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」に所蔵データを提供

①資料種別　②タイトル　③サブタイトル　④巻次　⑤シリーズ名　⑥責任表示
⑦出版者　⑧出版年月　⑨価格　⑩大きさ　等

（4）展示セットの貸出（平成 25 年 2 月～）

（5）『東日本大震災福島県復興ライブラリー資料一覧』・『増加資料一覧』と『ブックガイド』の発行

①「資料一覧」は 2012.4.28 現在から 2017.3.11 現在までの 11 版を発行、昨年度より増補版として、2018.3.11 現在の「増加資料一覧」を発行
②「ブックガイド」は 2013 年 2 月に発刊し現在 20 号まで発行　170 冊を紹介

5　課題

（1）収集　①予算の確保
　　②非流通資料の出版情報の入手と確保

（2）活用　①情報提供の方法
　　②PR

（3）県アーカイブ事業との連携

（4）職員体制

福島県立図書館
東日本大震災福島県復興ライブラリーコーナー　年度別貸出ベスト3

平成30年度　　貸出日:2018年04月01日 - 2019年01月11日

順位	貸出数	書誌情報	分類
1	9	福島第一原発廃炉図鑑　開沼 博／編　太田出版　2016.6　21cm　396p	543.5
2	8	はじめての福島学　開沼 博／著　イースト・プレス　2015.3　19cm　412p	369.36
2	8	プロメテウスの罠　2　朝日新聞特別報道部／著　学研パブリッシング　2012.7　20cm　277p	543.5
2	8	プロメテウスの罠　3　朝日新聞特別報道部／著　学研パブリッシング　2013.2　20cm　294p	543.5

平成29年度　　貸出日:2017年04月01日 - 2018年03月31日

順位	貸出数	書誌情報	分類
1	12	魂でもいいから、そばにいて　奥野 修司／著　新潮社　2017.2　20cm　254p	147
2	10	しんさいニート　カトー コーキ／著　イースト・プレス　2016.9　19cm　327p	916
2	10	バラカ　桐野 夏生／著　集英社　2016.2　20cm　650p	913.6

平成28年度　　貸出日:2016年04月01日 - 2017年03月31日

順位	貸出数	書誌情報	分類
1	12	プロメテウスの罠　[1]　朝日新聞特別報道部／著　学研パブリッシング　2012.3　20cm　269p	543.5
2	10	バラカ　桐野 夏生／著　集英社　2016.2　20cm　650p	913.6
2	10	福島が日本を超える日　浜 矩子／著　かもがわ出版　2016.3　19cm　239p	304

平成27年度　　貸出日:2015年04月01日 - 2016年03月31日

順位	貸出数	書誌情報	分類
1	14	原発大国の真実　コリーヌ・ルパージュ／著　長崎出版　2012.6　19cm　252p	539.091
2	12	いちから聞きたい放射線のほんとう　菊池 誠／著　筑摩書房　2014.3　18cm　197p	539.6
2	12	死の淵を見た男　門田 隆将／著　PHP研究所　2012.12　20cm　380p	543.5
2	12	はじめての福島学　開沼 博／著　イースト・プレス　2015.3　19cm　412p	369.36

平成26年度　　貸出日:2014年04月01日 - 2015年03月31日

順位	貸出数	書誌情報	分類
1	19	プロメテウスの罠　3　朝日新聞特別報道部／著　学研パブリッシング　2013.2　20cm　294p	543.5
2	17	死の淵を見た男　門田 隆将／著　PHP研究所　2012.12　20cm　380p	543.5
3	16	プロメテウスの罠　2　朝日新聞特別報道部／著　学研パブリッシング　2012.7　20cm　277p	543.5

平成25年度　　貸出日:2013年04月01日 - 2014年03月31日

順位	貸出数	書誌情報	分類
1	20	死の淵を見た男　門田 隆将／著　PHP研究所　2012.12　20cm　380p	543.5
2	14	プロメテウスの罠　2　朝日新聞特別報道部／著　学研パブリッシング　2012.7　20cm　277p	543.5
2	14	ラジオ福島の300日　片瀬京子とラジオ福島／著　毎日新聞社　2012.3　19cm　207p	369.31

平成24年度　　貸出日:2012年04月01日 - 2013年03月31日

順位	貸出数	書誌情報	分類
1	16	プロメテウスの罠　[1]　朝日新聞特別報道部／著　学研パブリッシング　2012.3　20cm　269p	543.5
2	15	3.11以後　（中公選書 001）　茂木 健一郎／著　中央公論新社　2011.11　20cm　201p	914.6
2	15	ホットスポット　NHK ETV特集取材班／著　講談社　2012.2　20cm　285p	543.5

第 8 回被災地図書館との震災資料の収集・公開に係る情報交換会 報告
＜福島大学附属図書館における震災関連資料の収集について＞

平成 31 年 2 月 4 日
福島大学附属図書館

１．資料収集

【内容】震災に関わる様々な資料としているが、購入資料については、震災・復興・ボランティア・福島第一原子力発電所・防災などを中心に収集している。

【点数】図書や雑誌を約 6,300 点（平成 31 年 1 月時点）収集し、公開中。その他未整理の資料（チラシ、ポスター、パンフレット等）あり。

【予算】購入図書については、学内予算が毎年措置されているが、減少傾向にある。

２．公開方法

・平成 23 年４月に「震災関連資料コーナー」を設置し、整理済の資料を公開（平成 27 年の増改築により拡大）
・上記コーナーに配架されている資料については、OPAC で検索可能
・平成 29 年 9 月より「福島大学附属図書館 震災関連アーカイブ」（https://www.lib.fukushima-u.ac.jp/repo/repository/shinsai/）を開設し、震災に関わる教員の成果物などをウェブ上で公開（本学学術機関リポジトリにて平成 26 年 3 月より公開していた震災関連データを移行）

３．課題・今後の予定

・購入図書以外の収集・整理
・収集内容の見直し検討
・学内の震災に関わる記録の収集
→ 他部局における震災当時の活動記録（ファイル 45 冊分）の受入検討
・うつくしまふくしま未来支援センター（FURE）の収集資料の受入検討

４．ご意見を伺いたい点

・アンケート資料など、個人情報が含まれる資料の保存及び利用について
・個人が譲り受けた資料の図書館における公開について
・新聞は震災後どのくらいの期間を保存しているか